

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (沖縄)	◎	その他飲食店 〔ファースト フード〕（総務 部）	来客数の動き	・9月は観光需要が高く、特に学生の観光客が多く訪れたことで景気は好調となっている。他方で、今年は例年より台風の影響が大きく、景気を下押ししている。
	○	一般小売店〔土 産〕（営業部 長）	来客数の動き	・7～8月は台風の影響により観光客数が減少したが、9月は大型連休の影響で増加している。
	○	百貨店（経営担 当）	来客数の動き	・催事やイベントの開催等で来客数が増加している。
	○	スーパー（店舗 管理）	来客数の動き	・旧盆商戦の時期が異なるため単純比較はできないが、想定より来客数が2～3%減少している。
	○	コンビニ（経営 者）	単価の動き	・前年を上回る売上となっている。
	○	その他専門店 〔書籍〕（部 長）	お客様の様子	・知事交代により、景気が回復することを期待している。
	○	一般レストラン （代表者）	来客数の動き	・9月の大型連休の影響で、来客数が増加した。
	○	観光型ホテル （専務取締役）	来客数の動き	・これまで台風の影響で来客数が落ち込んでいたものの、9月の大型連休が好天に恵まれたことで状況が改善し、全体的に来客数は回復傾向にある。
	○	旅行代理店（マ ネージャー）	販売量の動き	・団体旅行や大型イベントの受注により販売量は前年比約130%と大幅に増加している一方、個人旅行の需要は伸び悩んでいる。
	○	観光名所（職 員）	来客数の動き	・9月の大型連休が好天に恵まれたことで、月間の来客数は前年を上回っている。
	○	住宅販売会社 （営業担当）	来客数の動き	・分譲住宅への問合せが活況である。
	□	商店街（代表 者）	お客様の様子	・飲食店はやや好調な一方、小売店は苦戦している。全体的に一長一短の状態が続いており、景気動向の判断が難しい状況である。
	□	一般小売店 〔酒〕（店長）	販売量の動き	・物価高騰の影響で、高価格帯の商品が売れにくい状況となっている。
	□	スーパー（企画 担当）	販売量の動き	・旧盆の時期が異なるため単純比較は難しいものの、実質ベースでは前年水準を維持しており、個人消費など景気の実勢は堅調に推移している。
	□	コンビニ（店 長）	お客様の様子	・常連客の顔ぶれや購入商品に大きな変化はみられない。
	□	家電量販店（営 業担当）	来客数の動き	・物価高による単価上昇で、売上は前年比100%を上回ったものの、来客数は減少している。
	□	乗用車販売店 （経理担当）	来客数の動き	・例年にないイベントを開催したところ、多くの来場があり、購買意欲は衰えていないことが確認できた。
	□	その他専門店 〔陶器〕（製 造）	販売量の動き	・夏や9月の大型連休前の大型発注が一段落し、需要は落ち着いている。
	□	観光型ホテル （総支配人）	来客数の動き	・台風の影響で実績は前年を下回ったものの、台風がなければ前年並みだったとみられる。
	□	通信会社（サー ビス担当）	販売量の動き	・端末価格の高騰や買換えサイクルの長期化で台数の伸びは鈍化しているものの、一定の買換え需要があり、3か月前と同水準で推移している。
	□	住宅販売会社 （役員）	来客数の動き	・中古住宅や投資物件の需要は堅調だが、金利上昇で値引き交渉が増加している。他方で、新築マンションは人気エリアを中心に高価格帯でも好調である。
	▲	コンビニ（経営 企画担当）	来客数の動き	・台風が多発により客足が減少したことで、飲料やアイスクリームなどの季節商品の動向も低調となっている。
	▲	通信会社（営業 担当）	お客様の様子	・インフレが外的要因とした場合、実際の景気は更に悪化すると思う。
	×	その他飲食店 〔バー〕（経営 者）	来客数の動き	・団体客の減少に伴い、月間の来客数も減少している。

	×	観光型ホテル （企画担当）	販売量の動き	・ 6 月の販売室数が前年比19%増加に対し、9 月は前年比 0.4%減少でマイナスに転じている。
企業 動向 関連 （沖縄）	◎	—	—	—
	○	窯業土石業（取 締役）	受注量や販売量 の動き	・ 受注案件の増加に伴い生産が拡大しており、売上の回復が見込まれている。
	□	建設業（経営 者）	受注量や販売量 の動き	・ 原価高騰による価格転嫁が受注に影響しており、利益率が低下している。
	□	輸送業（経営企 画部）	それ以外	・ 外国人運転手の採用で人手不足は一部緩和されたものの、人件費や物流コストの上昇が続いている。
	□	通信業（総務）	それ以外	・ 観光需要は好調を維持しているものの、人手不足や物価高、特に資材価格の上昇が課題となっている。
	□	会計事務所（所 長）	取引先の様子	・ 物価高や金利上昇への懸念はあるものの、現時点では事業者への影響は限定的である。
	▲	—	—	—
	×	*	*	*
雇用 関連 （沖縄）	◎	—	—	—
	○	学校〔大学〕 （就職支援担 当）	それ以外	・ 物価高は続いているものの、食品・生活用品の購入や外食・旅行などに活気が見られ、身の回りでは景気がやや改善していると感じられる。
	□	人材派遣会社 （総務担当）	採用者数の動き	・ 求人案件はあるものの、若年層や長期就業人材の確保が難しく、採用のマッチングに時間を要している。
	□	求人情報誌製作 会社（審査）	求人数の動き	・ I T 関連や接客・サービス関連の求人は微増する一方、他業種は微減または横ばいとなっている。
	□	職業安定所（職 員）	求人数の動き	・ 前年比で求人数が減少している。
	□	学校〔専門学 校〕（就職担 当）	採用者数の動き	・ 2027年3 月卒業予定者向け求人は停滞しているが、医療事務系の就職活動開始により今後は若干の増加が見込まれる。 2028年3 月卒業予定者向け求人は徐々に増えているものの、採用数は前年並みかやや減少傾向にある。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—